

(別添資料1)

事業所名

放課後等デイサービスわおん トア教室

支援プログラム（参考様式）

作成日

7 年

2 月

10 日

法人（事業所）理念		・我々の力で子供たちの豊かな未来を創造する。																	
支援方針		・あそび＝まなび 子どもたちが自ら遊びながら学べる環境を提供し、一人ひとりの「やりたい」と言う意欲や興味、関心を育みます。わおんは、保護者の皆様と二人三脚で、子どもたち一人ひとりが持つ得意な分野を大切にし、自然な成長を見守りながら、一人ひとりに適したサポートを提供します。指導員が子どもたちの成長過程を理解し、自分のペースで学び、成長する姿をしっかりと支えていきます。																	
営業時間		11	時	0	分から	20	時	0	分まで		サービス提供時間	14	時	0	分から	17	時	30	分まで
		8	時	30	分から	17	時	30	分まで				10	時	0	分から	16	時	0
送迎実施の有無		あり																	
		支 援 内 容																	
本人支援	健康・生活	・健康管理：家庭や学校からの情報共有に基づき、通所時の体温測定や活動中の健康観察を行い、心身の健康状態を把握します。 ・生活習慣の確立：入退出時の準備、片付け、荷物管理（忘れ物確認）、身だしなみや清潔の確認（着脱、手洗い、食事、排泄）など基本的な生活スキルが身につくよう支援します。 ・環境調整：個々の特性や状況に応じた活動場所の仕切りや、車内・室内での座席の配慮など、適切な環境を整えます。 ・スケジュール管理：1日の流れやイベントの説明には視覚支援（スケジュールや手順の掲示など）を活用し、時間での誘導や声かけを行うことで、見通しを立てられるように支援します。 ・食育：食に関する知識や調理スキル（食材の準備、調理、配膳、片付け、軽量、衛生管理）を身につけるとともに、食への関心を高めます。（菜園体験、昼食作り、おやつ作り） ・買い物体験：買い物に必要な金額の確認、実際に店舗で品物を選び、支払いを行うことで、買い物の流れやマナーの習得を目指します。																	
	運動・感覚	・粗大運動：移動・ジャンプ・ボール遊びなどを取り入れた多様な運動プログラムの実施や、外遊びを通じて基本的な運動能力の発達を促します。 ・微細運動：工作や遊びを通して、指先や手の感覚を刺激し、巧緻性を高めます。季節を感じられる作品作りなど、興味を持てるような取り組みを行います。つかむ、ひっぱる、はめる、ひねる、つまむ、はる、切るなど、微細運動に関するプログラムを実施し、日常生活に必要な動作の向上を目指します。 ・感覚統合：感覚過敏な子ども達に配慮した環境設定や、感覚の特性に合わせた支援を行います。触覚・固有覚・前庭覚を意識した運動や制作を取り入れ、感覚統合を促進し、リズム遊び、季節に応じた行事の実施など多様な活動を通して、五感を刺激する体験を提供します。																	
	認知・行動	・自己理解と行動調整：小集団での遊びや活動を通して、自分の得意なこと・苦手なことを知り、自己理解を促します。視覚支援（スケジュール・手順・時間の掲示、確認・行動を促す仕組み）を活用し、適切な認知と行動の習得を支援します。また、概念形成や学習支援を行い、活動の切り替え（開始・終了）がスムーズにできるよう、事前予告を取り入れます。さらに、認知の偏りに配慮し、こだわりや偏食などの個別課題にも対応します。 ・感覚や認知の活用：ビジョントレーニングを取り入れ、眼球運動や視覚情報の処理能力を高めることで、視覚認知や視線の動きをスムーズにし、文字や図形の認識力、目と手の協調性、視覚的な判断力の向上を図ります。																	
	言語 コミュニケーション	・言語理解、自己表現：指示理解のトレーニングや、個々の理解度や特性に合わせた文字の読み書き・文章表現・情報の読み取り能力の向上を支援します。また自分の考えや気持ちを適切に表現できるよう、選択肢を用意し、相手に伝える練習を行います。 ・実践的なコミュニケーション支援（SST）：挨拶や場面に応じた言葉遣い、人前での発表、ロールプレイや言葉を使ったゲームなどを通じて、適切なやり取りを学びます。支援者が間に入りながら、他児との関わりを通じて、相手の状況に応じた適切なコミュニケーション手段の習得を目指します。																	
	人間関係 社会性	・集団活動への参加：遊びや体験を通して、社会性の基礎となるスキル（ルール理解、順番待ち、役割分担、協同作業など）の習得を支援します。 ・人間関係：勝敗のある遊びや、ゲーム遊びの中で、感情のコントロール、他者理解、意見交換、交渉など、社会適応に必要なスキルを育み、適切な人間関係の形成を支援します。 ・社会的ルール：地域の公共施設や公園など外出活動を行い、ルールやマナーを身につけ、社会体験を豊かにし、地域社会への適応力を高めます。実際の場面での体験を通して、日常生活における課題解決能力を高めます。																	
家族支援		・お子さまや、兄弟に関する様々な不安や困りごとへの相談援助を行います。 ・指導後のフィードバックやお子さまの発達状況や支援のニーズの確認を、面談や日々の連絡等にて行います。 ・レスパイト確保や預かりニーズに対する延長支援を行います。								移行支援		・関係機関と情報共有を行い、包括的な支援を行えるよう環境作りを行います。 ・学校活動の中で友達、集団での自身の立ち位置に課題と訓練を見出し、同年代の子どもたちとの仲間づくり等の支援を行います。							
地域支援・地域連携		・イベントへの参加や公共施設（公園等）の活用、公園清掃ボランティアの地域活動を通して、地域との交流する機会を提供します。 ・見学の随時受け入れ・情報提供								職員の質の向上		・定期的な療育会議、職員会議、活動会議の実施、虐待防止（身体拘束）に関する研修							
主な行事等		季節に関する活動 ・春（節分・ひなまつり・お花見・潮干狩り） ・夏（川遊び・夏祭り・プール・BBQ・流しそうめん・スイカ割り） ・秋（焼き芋作り・ハロウィンパーティー・紅葉見物） ・冬（クリスマス会・初詣・書初め・風揚げ・餅つき） ・その他（誕生日会・大型公園・水族館・動物園・工場見学・街探検・わおんマーケット（模擬店舗体験）																	